

「大寒」そして阪神淡路大震災から 30 年

校長 松本 雅史

みなさんおはようございます。

今日は、1月20日。暦では「大寒」です。これは、1年間を24等分した二十四節季の最後の暦になります。一年で一番寒い時期とされます。でも今年は、今週は暖かくなるようです。この「大寒」で、一年が終わり、いよいよ2月3日が「立春」です。ですから、その前日の2月2日が暦の区切りになりますので、この日を「節分」といいます。この大寒の時期は、お酒やお味噌を仕込む時期でもあります。一年で一番寒く厳しい時期に、一番大切な仕込みをするのです。この厳しさを越えて、本物の味が出来上がっていくのだそうです。寒いですが、私たちも寒さに負けず、元気に勉強に運動に挑戦していきましょう。

さて、先週の金曜日、1月17日は、阪神淡路大震災からちょうど30年目の節目の日でした。

1995年1月17日、午前5時46分、関西地方を襲ったマグニチュード7.3の巨大地震は、6,434人という尊い命を奪いました。私は、練馬区の小学校でちょうど6年生を教えていました。横倒しになった高速道路、下の階が完全につぶれて傾いたビル、ほうぼうから立ち上がる炎と煙、完全にまちが粉々になっている映像に、呆然となったのを今でも覚えています。

このとてつもない震災の中で生き残った人たちは、どのようにして生き延びることができたか。その内訳は、このようになっています。

す。

1位：自力で脱出した（34.9%）

2位：家族に助けられた（31.9%）

3位：?????????（28.1%）

この、?????????は、何だったのでしょうか？

救急隊でしょうか、レスキュー隊でしょうか、消防隊でしょうか？

ほぼ、4人に一人は、こうして命を救われたのです。

それは、一体何だったか。

それこそ「近所の人」「通りすがりの人」だったのです。

普段、あまり気にもしない近所の人どうしかもしれませんが、その人たちが助け合って多くの人の命が救われていたのです。

いざというときに、実は本当に頼りになるのが「近所の人」「地域の人」です。だからというわけではないですが、近所の方々、地域の方々とは日頃からつながっているということは、とても大切なことです。皆さんは、ご近所の方と顔を合わせたときに「こんにちは」と自分から挨拶できていますか。先生の家のご近所さんは、大人も子どももとても皆さんよく挨拶をしてくださいます。

挨拶が明るく交わされる地域は、犯罪者はきらうとも聞いたことがあります。五小の皆さんは、学校では挨拶がとてもよくできます。ぜひ地域でもすすんで挨拶をして、五小の子どもから明るく、助け合えるまちをつくっていきたいものです。

今朝は、阪神淡路大震災30年に合わせて、地域の人とのつながりをつくっていこうというお話をしました。

これで今日の朝会のお話を終わります。

<二十四節季> この日づけはめやすです。今年の立春は2/3です。

春 (昔の1月〜3月)	立春(りっしゅん)	2/4 頃	秋 (昔の7月〜9月)	立秋(りっしゅう)	8/8 頃
	雨水(うすい)	2/19 頃		処暑(しよしよ)	8/23 頃
	啓蟄(けいちつ)	3/5 頃		白露(はくろ)	9/8 頃
	春分(しゅんぶん)	3/21 頃		秋分(しゅうぶん)	9/23 頃
	清明(せいめい)	4/5 頃		寒露(かんろ)	10/8 頃
	穀雨(こくう)	4/20 頃		霜降(そうこう)	10/24 頃
夏 (昔の4月〜6月)	立夏(りっか)	5/5 頃	冬 (昔の10月〜12月)	立冬(りっとう)	11/7 頃
	小満(しょうまん)	5/21 頃		小雪(しょうせつ)	11/22 頃
	芒種(ぼうしゅ)	6/6 頃		大雪(たいせつ)	12/7 頃
	夏至(げし)	6/21 頃		冬至(とうじ)	12/21 頃
	小暑(しょうしよ)	7/7 頃		小寒(しょうかん)	1/5 頃
	大暑(たいしよ)	7/23 頃		大寒(だいかん)	1/21 頃

2025年(令和7年)今年は・・・

1月20日

大寒(だいかん)

2月2日(ここで1年の区切り)

節分(せつぶん)

2月3日(ここから新しい年の始まり)

立春(いっしゅん)

震災で、どのようにして 生き延びることができたのか？

じりき だっしゅつ
1位：自力で脱出した
(34.9%)

かぞく たす
2位：家族に助けられた
(31.9%)

3位：????????
(28.1%)

きんじよ とお
近所の人・通りすがりの人

いざというときに、

じつ ほんとう たよ
実は本当に頼りになる
のが、

^{きんじょ}
「近所の人」

^{ちいき}
「地域の人」



横だおしになった高速道路

NHK

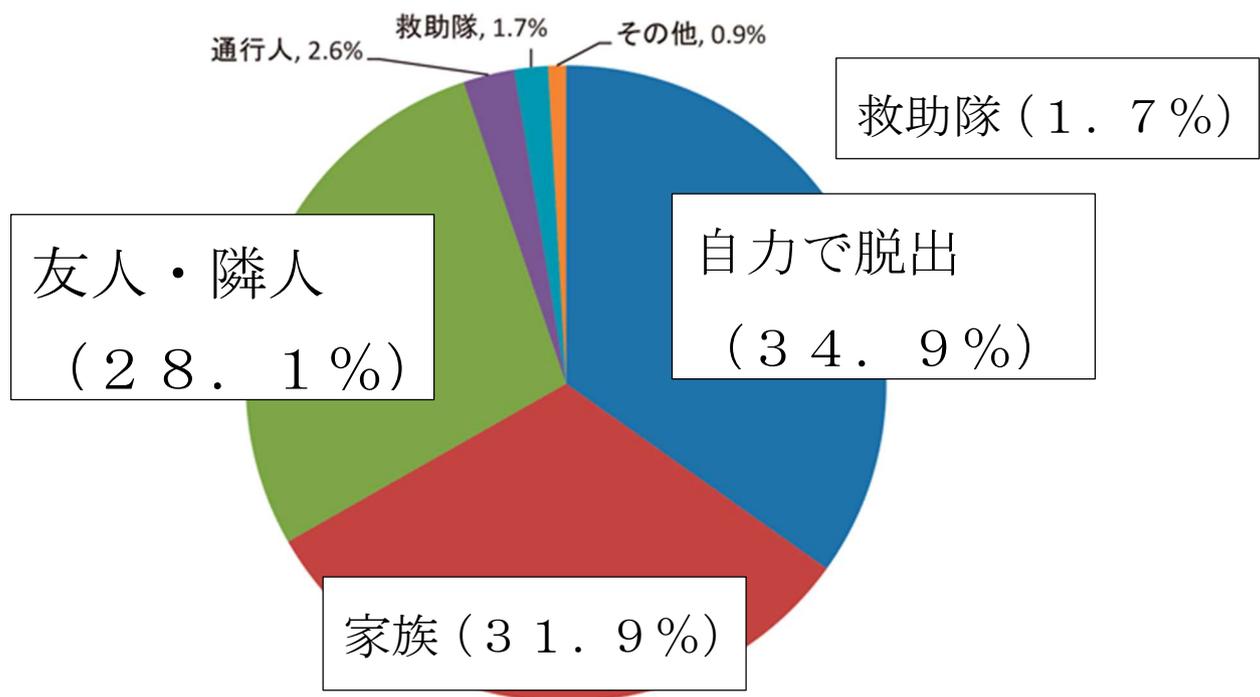


同時に多発した火災(阪神・淡路大震災)



**下の階がおしつぶされて
かたむいてしまったビル**

図表2 阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助主体等



標本調査：(社)日本火災学会 (1996)「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」参照